

令和6年度 第2回 運営推進会議開催状況報告書

| | | | | |
|---|--------------------------------|----|-----------|----|
| 事業所名 | 梨雲苑デイサービスセンター | | | |
| 開催日時 | 令和7年3月11日(火) 13時30分～14時30分 | | | |
| 開催場所 | 特別養護老人ホーム 梨雲苑 研修室(富山市吉作1725番地) | | | |
| 参加者 | 地域住民代表者 | 3名 | 知見者、民生委員等 | 1名 |
| | 利用者(家族)代表者 | 1名 | 事業所職員 | 5名 |
| | 行政職員 | 0名 | その他(地域包括) | 1名 |
| 議題 | 1. 事業所の現状について | | | |
| | 2. その他 | | | |
| 会 議 録 | | | | |
| <第1号議案> 事業所の現状 | | | | |
| ・今年2月に2度大きな寒波の影響で休まれる利用者様が多かった。 | | | | |
| 2/5～8の寒波では当日キャンセルが非常に多く、降雪量・最深積雪が多い為安全面を | | | | |
| 考慮される方が多かった。2/22の土曜日3連休の初日の寒波でも同様に当日キャンセル | | | | |
| が多くみられた。 | | | | |
| 降雪量10cmを超えると利用者数が減りやすいことが分かった。 | | | | |
| 1度目の寒波では梨雲苑の前後の道は中々除雪が入らず道がガタガタだったが2度目の寒波 | | | | |
| では早い段階で除雪が入り道路状況は良かった。 | | | | |
| ・職員について、看護師12月に1名・ケアワーカー1月に3名・2月に1名・運転手3月 | | | | |
| に1名新入職や異動で配属されている。 | | | | |
| ・インフル・コロナの感染者数は少ない。感染対策としてうがい・手洗い・マスクの着用、 | | | | |
| 定時の換気をしている。 | | | | |
| ・行事では1月に富山県芸術文化協会アーティストマッチング事業による民謡講演があり、 | | | | |
| 利用者様が本場の民謡を拝見され楽しんでおられた。 | | | | |
| ・法人の防災セミナーがデイサービスを会場として行われ地域住民の方が参加された。 | | | | |
| | | | | |
| ご意見やご質問 | | | | |
| ・雪の影響で除雪や道路状況が悪く送迎が大変だと思い、利用を休む時もあった。幹線道路 | | | | |
| の除雪の業者は来年度違う業者が入る予定。 | | | | |
| →雪の影響で送迎時間の遅れや、乗車時間が長くなる事もあり、休まれる利用者様がおら | | | | |
| れることで他利用者様の負担が少なくなった部分もある。 | | | | |
| ・デイサービスは体験利用があるが、ショートステイの体験利用は家族と一緒に出来るか | | | | |

| |
|--|
| 考慮してほしい。 |
| →ショートステイの利用者様と家族様の体験利用は食事の面もある為、担当とも検討してみます。 |
| ・入所している方への面会をしたい時はどうしたらいいのか。 |
| →予約状況や本人の意思確認もあるので、まずは入居の窓口担当にご相談ください。 |
| ・雪害も災害の1つであり、町内としては避難誘導のあり方、民生委員による安否確認、福祉車両の活用などの観点から、連携を密にするため吉作の自主防災組織に協力をお願いしたい。 |
| →是非、参加させて頂きたい。 |
| ・振興会として今年は災害時の避難訓練を考えている。4～5月に防災計画会議があり各種団体にも声掛けしているが梨雲苑にも参加してほしい。 |
| →是非、参加させて頂きたい。 |
| ・積雪が多い時に職員の方は職場に無事に着くことは出来たか。 |
| →デイは無事に通勤できた。ホーム職員で一部泊まる職員がいたが無事に通勤できていた。 |
| ・災害時、車椅子・一人暮らしの方の避難誘導の対応として、避難という短時間での福祉車両の運用には難しい面もあると思うが検討の余地はある。 |
| ・要支援の利用者様で、デイサービス利用中にタブレット端末を使用し脳トレすることで自宅でも脳トレをしたいと言う気持ちがあり家族様にもタブレットのことを伝えている。本人の自信に繋がっている。 |
| |
| <第2号議案>その他 |
| ・前回の会議で質問の合った、利用者の年齢割合、変化について |
| 10年前と比べると90代の登録が多くなってきている。最近では1年に1～2人は100歳のお祝いを行っている。 |
| |
| ・保育所作品展について |
| コロナ禍前は利用者様と園児達との交流会を月ごとに行っていたが、コロナのため交流ができなくなった。代わりに作品をお借りし展示することで交流と位置付けていた。今年は苑から卒園記念品を渡す際に以前のような交流希望が一部の保育所からあった。 |
| |
| ご意見やご質問 |
| ・10年前と比べると登録年代が遅くなっている。 |
| |

・園児たちとの交流は元気をもたらえる。

・是非、交流して頂きたい。

→作品展は今後も続けていきたい。交流は、すべての保育所が希望しているわけではないが
出来れば実現したい。